

JCOM2015 大会プログラム 2015年10月31日開催

12:00 受付 帯広市 とかちプラザ 4階 402講習室前

12:30 総会 (とかちプラザ 4階 402講習室)

研究発表会 (とかちプラザ 4階 402講習室)

座長: 江沢辰広 (北海道大学)

13:00 招待講演, 共生微生物による昆虫の農薬抵抗性進化
菊池義智 (産業技術総合研究所生物プロセス研究部門)

13:45 休憩

14:00 O1, モンゴルのステップ草原における家畜食害がアーバスキュラー菌根菌群集に与える影響
○日下部亮太¹・谷口武士²・Jamsran Undarmaa³・山中典和²・大和政秀⁴
(千葉大院教育・²鳥取大乾地研・³モンゴル国立農業大・⁴千葉大教育)

14:13 O2, コムギにおけるアーバスキュラー菌根形成率の品種間差異
岡野なつみ・石田幹大・橋本靖・○大西一光 (帯広畜産大畜産科学)

14:26 O3, 感染単位 (IU) 密度を指標とした AM 菌感染ポテンシャル評価
○大友量・小八重善裕・森本品・岡紀邦 (北海道農業研究センター生産環境研究領域)

14:39 O4, ダイズに接種した AM 菌の圃場条件における感染動態
○森本品・小八重善裕・岡紀邦・大友量 (北海道農業研究センター生産環境研究領域)

14:52 休憩

座長: 俵谷圭太郎 (山形大)

15:07 O5, アーバスキュラー菌根菌 LSU rDNA の塩基配列に基づいた 222 仮想分類単位の規定と
群集構造解析プロトコールの確立
○丹羽理恵子¹・佐藤修正²・平川英樹³・吉田重信¹・江沢辰広⁴ (¹農環研・²東北大院生命科学・³かずさ DNA 研・⁴北大院農)

15:20 O6, *Rhizophagus* spp. における protein-coding genes の種間ならびに種内の
塩基配列多型評価
○丸山 隼人¹・中西 夏輝²・鈴木 芽以¹・江沢 辰広¹ (¹北海道大大学院農学,²北海道大農学)

15:33 O7, Mollicutes-related endobacteria はケカビ亜門菌類 3 目すべてに内生する
○高島勇介¹・成澤才彦² (¹東京農工大大学院連合農学・²茨城大農)

15:46 O8, 共生促進剤としてのジベレリン合成阻害剤の利用
○武田直也・永江美和・川口正代司 (基礎生物学研究所/総研大)

15:59 O9, 植物-菌根菌系における資源分配の特異制御を用いた理論的研究
内之宮光紀 (九州大システム生命科学府)

16:12 休憩

座長： 山田明義 (信州大)

- 16:27 O10, 海岸クロマツの *Cenococcum geophilum* 菌根内における
分離可能な放線菌の探索と分布
○ 畠田翔耀¹・愛須加菜¹・今神広紀¹・松田陽介² (1 三重大生資・2 三重大院生資)
- 16:40 O11, 石狩海岸林の砂質土壌における菌根菌相
○ 荒井洋樹¹・小長谷啓介²・玉井裕¹・矢島崇¹・宮本敏澄¹ (1 北海道大院農学・2 森林総研)
- 16:53 O12, ハマカキランのアルビノ個体を用いたトランスクリプトーム解析による
菌従属栄養性に関する遺伝子群の探索
○ 三浦千裕^{1,2}・末次健司³・大和政秀⁴・山口勝司⁵・高橋和也⁴・井田喜子¹・重信秀治⁵・
上中弘典¹ (1 鳥取大農・2 鳥取大産学地域・3 京都大白眉・4 千葉大教育・5 基生研)
- 17:06 O13, ラン科植物シランの菌根共生における植物ホルモンの影響
○ 山本樹稀¹・古井佑樹¹・三浦千裕^{1,2}・谷亀高広³・大和政秀⁴・上中弘典¹ (1 鳥取大農・
2 鳥取大産学地域・3 国立科博筑波実験植物園・4 千葉大教育)
- 17:19 O14, 北海道に生育する混合栄養植物イチヤクソウとヒトツバイチヤクソウの菌根菌群集
○ 上杉天志¹・谷亀高広²・橋本 靖³・松田陽介¹ (1 三重大院生資・2 国立科博植物園・
3 帯畜大生命)
- 17:32 休憩・移動

研究発表会ポスターセッション (とちぎプラザ 4階 401 講習室)

17:45~18:45 P1~P10

- P1, *Cenococcum geophilum* の遺伝的多様性解析における分離源の影響
○ 小長谷啓介 Greg W Douhan 松田陽介 Matthew E Smith (森林総研森林微生物・
カリフォルニア大植物病理・三重大大学院生物資源・フロリダ大植物病理)
- P2, アンズタケ-アカマツ菌根苗の子実体発生条件の解明
○ 小川和香奈¹・遠藤直樹¹・大橋光男²・山下昌三²・山田明義¹ (1 信州大農・2(株)KOA)
- P3, 夏咲きネジバナの菌根菌であり、*in vitro* において初期生育促進をした *Epulorhiza* sp.2
が野外の実生からもダイレクト PCR で検出された
○ 藤森 祥平・阿部 淳一・山岡 裕一 (筑波大学生命環境系)
- P4, シダ植物の心臓形野生配偶体にみられたアーバスキュラー菌根
○ 辻田有紀¹・平山裕美子²・迫田曜²・鈴木絢子²・今市涼子²・海老原淳³・森田奈菜⁴
(1 佐賀大農・2 日本女子大理・3 国立科学博物館・4 三重県立博物館)
- P5, アーバスキュラー菌根菌大陸間隔離株における相同ウイルス群の存在は
ウイルス-AM 菌間の長期にわたる共進化を示唆する
○ 鈴木芽以¹・志村華子¹・増田税¹・俵谷圭太郎²・江沢辰広¹ (1 北海道大院農学・2 山形大農学)
- P6, アーバスキュラー菌根の改良型明視野観察:WGA-HRP を用いた DAB 染色
○ 小八重善裕・大友量 (農研機構北海道農業研究センター)
- P7, Isolation of arbuscular mycorrhizal fungi from forest soils in Indonesia
and its effect on growth of *Paraserianthes falcataria*
○ A.F. Maulana, W. Cheng and K. Tawaraya (Yamagata Univ., Faculty of Agriculture)

- P8, 低リン条件におけるアーバスキュラー菌根菌 *Rhizophagus clarus* の
外生菌糸による酸性ホスファターゼの浸出
○佐藤匠¹・程為国¹・江沢辰広²・俵谷圭太郎¹ (¹山形大農学・²北海道大大学院農学)
- P9, アーバスキュラー菌根菌のフィチン由来リン吸収におけるフィチン分解菌の寄与
○原新太郎・宇野亨・田島亮介・伊藤豊彰・齋藤雅典 (東北大大学院農学研究科)
- P10, 菌根形成で誘導されるミヤコグサの脂肪酸合成関連遺伝子
杉村悠作・本間雄介・○齋藤勝晴 (信州大農学)

19:00~21:00

懇親会 (とちプラザ 1階 ラウンジ PicNic)

=====
発表要領

口頭発表： 一般講演は、発表時間 10 分間、質疑応答 3 分間 (計 13 分間) です。時間を厳守して下さい。
発表用のパワーポイントファイルをご用意願います。ファイルは USB メモリー (ウイルス等の危険の無いことを確認した物) で当日持参して下さい。
受付横にコンピューター (Windows8, PowerPoint2013) を用意します。13 時まで (遅くとも 13:50 までに) インストールを済ませて各自確認をして下さい。
トラブルを防ぐため、出来るだけシンプルな表示や、テキストボックスを大きめにして不用意な改行を防ぐなどを、お願いいたします。

ポスター発表： ポスターの展示ボードは横 90 x 縦 180 mm で、画鋏でとめて頂きます (画鋏は用意します)。
ポスターの説明時間は 17:45 から 18:45 を予定しています。
ポスター発表会場は口頭発表会場 (402 講習室) と同じ階の 401 講習室ですが、17:30 までは、口頭発表会場内での掲示を行います (17:30 まで 401 講習室には入れません)。
ポスターの掲示は、総会の前、総会の後、口頭発表の休憩時間をお願いします。

その他

お昼 総会の開始時間がお昼に掛かります。早めのお昼をお願いいたします。お昼ご飯は、駅の中西側、駅の北口を出た周辺、駅周辺ホテル内などの利用が便利です。

懇親会 同じ建物の 1 階にある、レストラン・ラウンジ PicNic にて行います。参加費は 4,500 円です。

2 次会など 大会会場とは駅を挟んで反対側 (駅北側) が、帯広の主な繁華街です。駅を抜けて 5 分ほど北側に歩いた辺りにたくさんのお店があります。「北の屋台」(十勝食材のお店が 20 件ほど) などが人気です。御菓子の六花亭本店などもそちら側です。